

建設特別委員会」の検討過程と市民の声を尊重するとし、西口移転構想を白紙に戻しました。三年後に川越市は市制九十周年を迎えます。私たちも市役所問題は後世に残る大事業として慎重かつ幅広い意見を吸収しながら築く事業であるべきだと考えます。また、市民と

曾有の深刻な経済危機に直面しています。雇用不安が広がり、市政方針でも「多くの人々が現状に不安を抱え、将来に希望を見出せずにいる」と示されています。

日本がこれだけ深刻な事態に陥った原因は、外需に依存し内需を軽視したこと、派遣労働を拡大し雇用を不安定にしたこと、社会保障削減でセー

フティネットを機能不全にしたこと、構造改革と称し地方財源を削ったことなど、政治の責任です。

不十分な緊急対策
しかし、市政方針や新年度予算では、職や住む場所を失った人、中小業者など、困っている市民への対策は極めて不十分なものでは、雇用や経済

対策、市営住宅を提供するなどあらゆる手立てを尽くしての対応が、ただちに求められています。

また、市民の相談に対し必要な援助が受けられるよう、市が一丸となって対応する必要があります。

日本共産党議員団

佐藤 恵士

柿田 有一

川口 知子

本山 修一

いま、世界と日本は未

憲法を生かす市政を

憲法への認識について市長は、九条の平和原則は「先の悲惨な戦争をふまえ世界の恒久的な平和実現のためたいへん意義の重い条文」、二十五条の生存権については「日本の福祉国家理念をあらわすもので重要な権利」と答えました。

福祉を守る改革を
行財政改革に対する考えは、民間活用を徹底や費用対効果が述べられて

います。福祉や教育など行政本来の役割が形骸化しないかの指摘に対し、「福祉を後退させないための改革が必要」と表明

しました。福祉を守り充実させる立場での行政運営を引き続き要請します。

汚職・腐敗のない市政へ
市政方針には汚職・政治腐敗に対する言及がありませんでしたが、過去に起きた不祥事を再発させないためにも、清潔で

透明な市政運営が求められます。

必要な援助が受けられるよう、市が一丸となって対応する必要があります。



やまぶき同志会

江田 肇

若海 保

三上 喜久蔵

新井 金作



この度、新党派「やまぶき同志会」を結成いたしました。やまぶきは、

川越市の花であります。市民に親しまれ、草勢たくましい花にちなみ会派の名称といたしました。

四人でのスタートとなりましたが今後ともご指導のほどお願いいたします。

新市長の「市政の方針」を受け、代表が質疑を行い各議員も別掲のよう

に一般質問を行いました。市政の方針については、市政運営の基本姿勢

として、改革・公正・公開を掲げておりますが未曾有の経済情勢や社会情勢を考えると、改革は喫緊の課題であり、市民の信頼を得るために、公正・公開を旨とするは当然の事と思えます。そして五つの「かわごえづくり」も三十三万・中核市を更に発展、充実させるビジョンとして都市基盤の整備や福祉の充実、そして教育や文化、スポーツの浸透、産業、観光の振興を旨とすることは評価いたします。質疑の中で特にお尋ねした教育と農業について、中高一貫校の設置は川越の教育の原点となるよう期待すると共に、これからの激動の社会を生き抜くために、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の「知・徳・体」をバランス良く育む教育をして頂きたいと思えます。農業では、いま世界的な経済不況で地域経済や雇用不安から農業に関心が集り、これからは「農業の時代」だ

と言われておりますが、自給率の問題、食育や経営を課題とし、私共会派は農業、教育そして品格あるまちづくりを推進する川合新市政に大いに期待しております。

自民クラブ

吉敷 賢

関口 勇

神田 寿雄



市政方針について

川合善明市長は就任後の市政方針演説で「改革」、「公正」、「公開」をあげて、行政改革を行い、選挙公約に掲げた五つのかわごえづくり「人・まち・くらし・しくみ・げんき」を進めていく基本姿勢を明らかにしました。

全体的に広い分野に配慮したもので、特に公正さを重点に市政を改革し

は、市政運営の基本姿勢

たいという意気込みが感じられ、議会にも支援を呼びかけました。

就任直後の今議会では骨格予算の編成となり細部は六月になる内容もあります。

民主党議員団

山木 綾子
片野 広隆

三つの基本姿勢の中で「改革」については市長の給与と退職手当を見直し、二十%の削減。多選による市政の硬直化を防ぐため三期十二年間務めたいと意向を示され又厳しさを増す財政状況を踏まえて、人的物的資源を市政運営に最大限に活用する事をあげ、徹底した行財政改革を行なう事は、自民クラブも一緒になって財政健全化に向けて最重要課題として取り組んでいきたいと思えます。

民主党議員団は、過日行われました市長選におきまして川合市長を支持しました。

今後は、市政の執行側と、議会人として、それぞれの立場において、市政運営に全力を尽くしてまいりたいと考えます。

新市長の市政方針では、様々な思いが伝わってきました。

「公正」については市政は一部の者の為ではなく、市民の利益になるかどうかを常に意識し、市民の立場に立った公平な市政を行なうと明言しました。市長の答弁を聞いて「決断」、「実行」の一端が見られ、大いに期待す

するものです。清新な発想の大胆な改革への意気込みを評価します。

割れを起こす中で、入学者が集まるか疑問に思うと共に、財政的にも厳しいものがあるので、この事業からは撤退する。」と表明されました。

また、多くの市民の関心が大きかった、川越駅西口への、新市庁舎建設についても、「決定までの経過の不透明性などがかんがみて、白紙に戻し、市民の皆様と議会ともよく話し合い、意見交換をした後に、結論を出したい」と、この二件の事業については、事実上の撤退を表明したことには、敬意を払うと共に、支持をしたいと思えます。

市民フォーラム

牛窪 多喜男
高橋 剛

市民フォーラムは、現在の厳しい社会・経済情勢下で、市民の暮らしやいのちをしっかりと支える行政のあり方が問われているとともに、先送りされてきた政策決定を速

やかに言い、市民の負託に応えていくべきであるという認識のもと、川合善明市長の「市政の方針」について、その考えを問いました。

無所属 川口 啓介

と考えます。その際、市民の多くが親しむペットの斎場も合わせて実現できるような要望してまいります。

無所属 須賀 博

「行財政改革」を推進するにあたって市長は、身の丈にあつた財政運営を行うために「標準財政規模」の視点に立った「行財政運営」を、また、「かわごえらしさを発揮するための余地を持った『経常収支比率』を確保すること」、さらに臨時・突発的な経費に対する当座の備えである「一定程度の『財政調整基金』の確保」を目指していくことを明らかにしました。

厳しい財政状況の中で、市政運営の基本姿勢として「改革・公正・公開」の三つを掲げられました。誰もが望むこの姿勢には私も共感しております。私は一議員の立場から取り組んで参ります。

今後の本気の取り組みに期待しております。

無所属 加藤 昇

「やまごま」な課題に對し、勇気を持って決断します。「川合市長の言葉です。地方分権時代の新市長として、国・県に対しても、ものが言える首長になって頂きたい。私も議会では是々非々で対応致します。



「やまごま」な課題に對し、勇気を持って決断します。「川合市長の言葉です。地方分権時代の新市長として、国・県に対しても、ものが言える首長になって頂きたい。私も議会では是々非々で対応致します。

無所属 小野澤 康 弘

市長の市政方針では特に行財政運営の見直しを主要な課題としてあげております。

地方自治の本務である住民の福祉の増進のため健全で持続可能な財政運営を推進すべきと考えます。

なお、市民フォーラムは先送りされてきた施策の中で、特に市民の要望の多い「新たな斎場」の建設を早期に実現すべき

新市長は、市政の方針のなかで、その基本姿勢として、改革、公正、公開の三つを掲げ五つの「かわごえづくり」の実践に向けて、全力を尽くすと約束しております。

新しい川越づくりに、大いに期待し、また協力をしたいと考えております。



皆さん ありがとう